別紙様式３（第６条第２項関係）

　　年　　月　　日

総括安全衛生管理者　殿

復職に関する産業医の意見書

産業医氏名

|  |  |
| --- | --- |
| 復職事前面談日 | 　　年　　月　　日（　　）　　：　　　～　　：　　　 |
| 所属・職名 |  | 氏名 | 　　　　　　　　　　　　（　　歳） |
| 疾病名 |  |
| 疾病に関しての特記事項 |  |
| 現状の評価 |
| ①　病状の回復状況，通院の必要性②　業務遂行能力（安全な通勤の可否を含む）③　本人の復職への意欲，就業に関する希望（復職先、業務上の配慮）④　その他，復職に当たって必要と認められる事項 |
| 復職に関する意見 |
| 復職の可否（いずれかに[x] ） | [ ] 　可　　　　[ ] 　条件付き可　　　　[ ] 　不可 |
| 指導区分※（いずれかに[x] ） | [ ] 　Ａ：勤務を休む必要のあるもの[ ] 　Ｂ：勤務に制限を加える必要のあるもの　　　Ｂの場合、以下の各項目いずれかに[x] 　　　　①超過勤務　　（[ ] 禁止　　　　　・　[ ] 制限　　時間）　　　　②休日勤務　　（[ ] 禁止　　　　　・　[ ] 制限　　時間）　　　　③就業時間短縮（[ ] 遅出　　時間　・　[ ] 早退　　時間）　　　　④出張　　　　（[ ] 禁止　　　　　・　[ ] 制限　　　　）　　　　⑤異動　　　　（[ ] 要　　　　　　・　[ ] 不要　　　　）　　　　⑥その他　　　（　　　　　　　　　　　　　　　　　）[ ] 　Ｃ：勤務をほぼ平常に行ってよいもの[ ] 　Ｄ：平常の生活でよいもの |
| 指導区分措置期間 | 　　　　年　　月　　日　～　　　　　年　　月　　日 |
| 復職支援プラン（復職可の場合） |
| 復職支援の要否（いずれかに[x] ） | [ ] 　要　　　　　　　　[ ] 　不要 |
| 復職支援を要する場合復職支援プラン |  |
| 復職支援内容に関する特記事項 |  |

※　Ａ：休暇（日単位のものに限る。）又は休職により，療養のため必要な期間勤務させない。

Ｂ：職務の変更，勤務場所の変更，休暇（日単位のものを除く。）等の方法により勤務を軽減し，かつ，深夜勤務（午後１０時から翌日の午前５時までの間における勤務をいう。以下同じ。），超過勤務（正規の勤務時間以外の時間における勤務で深夜勤務以外のものをいう。以下同じ。）及び出張をさせない。

Ｃ：深夜勤務，超過勤務及び出張を制限する。